

平成22年8月3日 14時00分～15時30分 公室

- ・出席委員
齊藤委員長、井上副委員長、山下委員、小野寺委員、高田委員
- ・事務局（政策調整課）
安田部長、佐藤次長、山崎課長、川島主査、酒井主査

《次第》

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 市長挨拶
4. 委員の紹介
5. 委員会設置要綱
6. 委員会の進行について
 - (1) 行政評価の仕組みと委員会の進め方について
 - (2) 江別市の財政状況について
 - (3) その他（今後のスケジュール）
7. 閉会

会議録

1 委嘱状の交付

2 市長挨拶

お忙しい中、委員会にお越しいただきお礼を申しあげる。

江別市を取り巻く環境は、高齢化、人口減少により社会構図が大きく変る状況にある。

さらには、日本だけでなく、全世界に影響を及ぼしたリーマンショックの問題など、依然として厳しい行政状況である。昨年の政権交代により民主党政権になり、行政の仕組みも少しずつ変わりつつある。

市においては、平成16年から第5次総合計画をスタートさせており、計画の進行管理は、職員による行政評価を加えながら、進めてきているが、客観的な進行管理が必要ということで、外部委員の皆様による評価を実施することとした。

国においては、政権交代後、事業仕分けを実施している。市では、情報公開をもとに政策評価、事務事業の評価をすることにより法的な必要性、成果の向上について事業の見直しを行なってきているが、今後、これまでの評価に加えて、市民の皆様の目線でこれまで以上の事務事業の客観性、さらには、信頼性を確保して事業を進めていきたい。

このような考えのもと、委員の皆様から頂いた忌憚のないご意見等を踏まえながら、事業の見直しを行うなど、これからも社会情勢の変化に対応した企画、スピード感を持った姿勢で取り組む必要がある。そこで、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと考えているので、よろしく願いいたします。

3 委員の紹介

- ・ 各委員挨拶、事務局挨拶

4 委員会設置要綱

【要綱に基づき説明】

- ・ 委員長、副委員長を互選。齊藤委員を委員長に、井上委員を副委員長に願います。

5 協議事項

(1)行政評価の仕組みと委員会の進め方について

【井上委員】

外部評価の視点の③、「評価結果を踏まえた論理的な方向性の選択」という点だが、「方向性の選択」が十分、必要性を満たしているのかという妥当性を見るということによるか。

【事務局】

その通りである。

(2)江別市の財政状況について

(3)その他(今後のスケジュールなど)

次回は9月1日（水）の14時から最大17時までで開催することとなる。

【小野寺委員】

今日の話をもっただけでも分野が相当な範囲で、私、個人の中で整理しにくいものがたくさんある。事務局に話を伺いに行くことは可能か。

【事務局】

いつでも説明させていただく。

【山下委員】

当日の資料は、いつもらえるか。

【事務局】

現在、作成中であり、出来次第、すぐにお手元に届くようにする。

今回評価いただく6施策について、事務局案として各部局に了解を取っているものがあるので、問題がなければ、その6施策について評価いただきたいと考えているかがか。

具体的には、政策01「環境と調和する都市の構築」のうち、施策02「人と地球にやさしい環境の創出」。政策03「安心を感じる保険・医療・福祉の充実」のうち、施策03の「子育て環境の充実」。政策05「豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実」のうち、施策01「子どもの可能性を伸ばす教育の充実」、02「生涯学習の充実」、03「青少年健全育成の推進」。政策07「計画実現に向けて」のうち、施策01の「効率的な行財政運営の推進」、以上、6施策である。各施策には、施策マネージャーがおり、政策07「計画実現に向けて」の施策マネージャーは、事務局である政策調整課長である私ですので、出来れば、一番最初に、説明させていただいて外部評価していただければと考えている。

施策達成度報告書お渡しする際、評価に向けた若干の説明資料を一緒にお送りする形をとらせていただきたいが、よろしいか。

【各委員】

了承。

【井上委員】

6施策を評価の対象として選ばれた理由というものを明確にしていきたい。評価委員会が、なぜ、この施策を選んで評価したのかとなるので、どういう基準、ポイントでこれを選んだのかというところを明記していきたい。

【事務局】

あくまでも、今回は試行で行う評価であるので、できれば、市民的に見て、わかりやすい施策、身近な施策ということを考え、環境や福祉、教育等から選択した。

【高田委員】

平成22年度の予算書を見せてほしい。市長の市政執行方針もいただきたい。

【事務局】

お渡しする。

【山下委員】

施策マネージャーの方が、実際に外部評価委員会に来て説明され、それを受けて我々が質疑等をするというイメージでよろしいか。

【事務局】

31施策すべてにそれぞれマネージャーがいるので、マネージャーが順次説明をするという流れである。はじめの施策については、マネージャーである私の方で説明するが、二つ目以降は、所管の課長と施策の下の基本事業に設置されている基本事業責任者が、質疑に対応するため同席するという形になるかと思う。

以上で、第1回江別市行政評価外部評価委員会を終了する。